



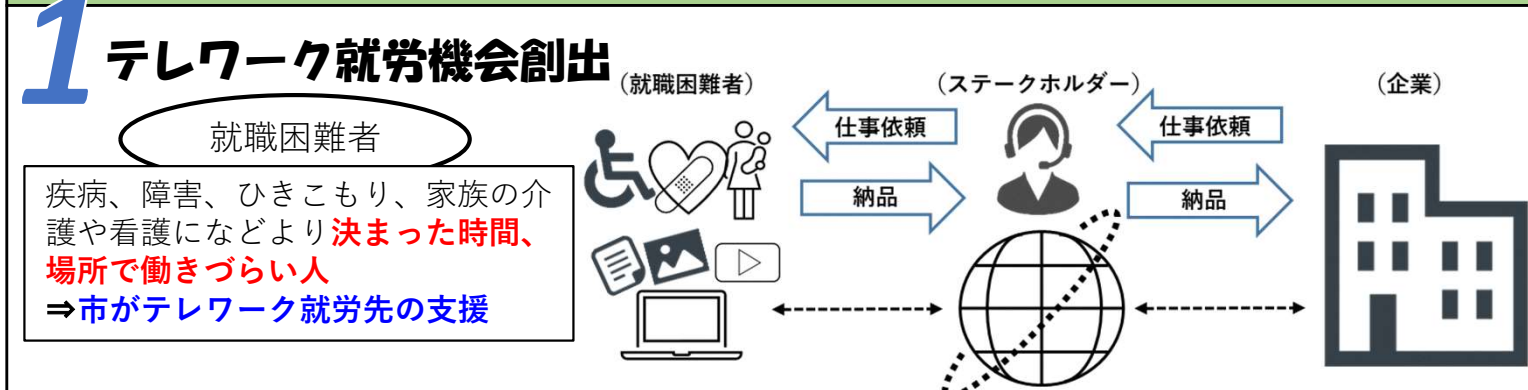


ICTを活用した就職困難者への自立支援事業		取組開始時期	令和2年8月	取組の カテゴリ	雇用維持・創出
-----------------------	--	---------------	--------	---------------------------	---------

1. 団体名	大阪府茨木市	2. 連携先の団体	VALT JAPAN株式会社（東京都）
---------------	--------	------------------	---------------------

3. 取組目的	ICTを活用した、就職困難者のテレワーク就労機会創出と雇用主による就労継続支援	4. 関連するゴール	   
----------------	---	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）



成果

- オンラインによる**完全非接触、時間や場所に捉われない雇用**の創出
- 体調の変化や雇用環境の変化への**強靱性の向上**
- 雇用主**のサポート力向上・ノウハウ蓄積

今後の方向性

- 対象者の順次拡大（生活保護受給者⇒生活困窮者、若者、ひきこもり、障害者など）
- テレワーク雇用機会の普及
- 地域企業からの非コア業務受注開拓
- 地域企業の障害者雇用率向上

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・就職困難者や貧困層への自立支援
- ・コロナなどの感染症、経済変動など社会的な影響への強靱性向上
- ・障害者などの就職困難者が抱える「やりがいのある自分に合った仕事」の選択機会不足・不平等の解決
- ・地域企業の巻き込み、活性化

ステークホルダーとの連携

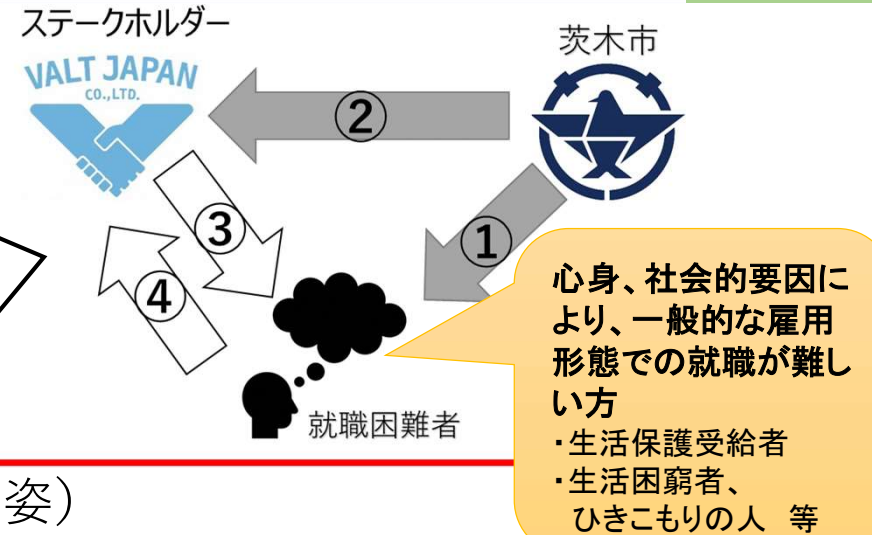
- ・民間企業のノウハウ、技術を活かした、新たな就労環境、サポート環境の構築。
- ・対象者を含め、チャットツール・オンライン会議を用い、距離に関わりなくスピード感あるコミュニケーション。
- ・連携の全体図については次項参照。

モデル性・波及性

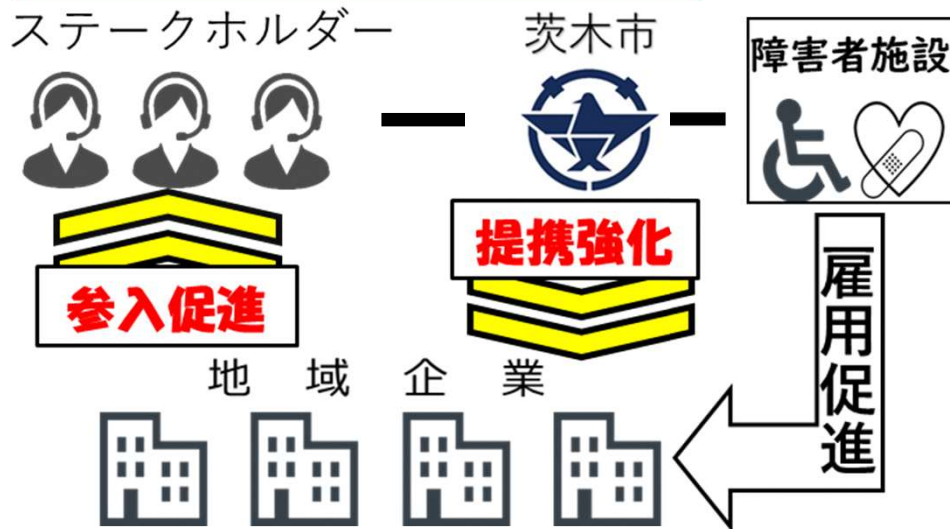
- ・「困っている人」なら属性に関わらず得られる「通わない」働き方の創出
- ・地域企業からの委託事業開拓
- ・地域企業の障害者雇用と定着を促すシステムとノウハウの構築
- ・SDGsの取り組みへの企業参画

自由記述欄

- ① 就職困難者への事業説明、相談支援
- ② 就職困難者のあっせん
- ③ 受注した非コア業務のプロセスを、対象者に合った作業にし、再委託。**オンラインによる支援を行い**、作業量に応じて賃金支払う。
- ④ 在宅で**PC、スマートフォンにより業務**を行って納品



2030年までに・・・



(ありがたい姿)

- ・ 生活困窮者に対し、時代に即したより柔軟な支援、経済的・精神的自立の支援ができる強靱な地域
 - ・ 地域住民とともに産官学が協力、連携してSDGsに取り組める地域
 - ・ SDGsの取り組みに、地域の企業が参加することにより、経済が元気になる地域
- ⇒ **誰もが輝ける社会の実現に取り組む**

<茨木市掲載ページ（報道提供）>

https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kikaku/machimiryoku/menu/kohogakari/47608.html#h_idx_iw_flex_1_9

<VALT JAPAN株式会社掲載ページ>

<https://www.valt-japan.com/local-government-cooperation>